

持続可能な社会づくりに向けた資金運用について

令和4年度から、基金のより効率的な運用を行うため債券による運用を開始します。

債券は公共債を対象とし、SDGs債を優先的に購入します。なお、SDGs債を購入した際には、「投資表明」を行い、持続可能な社会づくりへの貢献を内外に発信していきます。

那須塩原市では、各事業の財源確保及び市財政の健全な運営確保のために必要な基金を設置しています。長引く超低金利政策の状況下、より効率的な基金運用を行うため、今後10年間で大きく取り崩しがなく長期的に運用資金が確保できる5基金について、令和4年度から債券運用を開始します。

■ 対象とする債券

公共債

（国債、政府保証債、地方債、地方公共団体金融機構債、財投機関債、地方公社債）

■ 対象とする基金

- ① 財政調整基金 ② 減債基金 ③ 公共施設等有効活用基金 ④ 農村環境保全基金
⑤ 塩原地区温泉街活性化推進基金

■ 令和4年度運用金額

10億円

- 債券の購入に当たっては、安全性や効率性に十分に配慮しながら、「グリーンボンド」「ソーシャルボンド」「サステナビリティボンド」といったSDGs債を優先的に購入
- SDGs債を購入した際には、「投資表明」を行い、持続可能な社会づくりへの貢献を内外に発信

※ 「投資表明」とは、債券購入団体がSDGsを推進する取組として、SDGs債券の購入を行うことで、持続可能な社会の形成に寄与し、社会的使命・役割を果たしていくことを対外的に公表すること

グリーンボンド

地球温暖化をはじめとする環境問題の解決に資するグリーンプロジェクトに要する資金調達

ソーシャルボンド

衛生・福祉・教育などの社会課題の解決に資するソーシャルプロジェクトに要する資金調達

サステナビリティボンド

グリーン及びソーシャル双方のプロジェクトに要する資金調達